

第10回（令和6年度第1回）埼玉県競輪事業検討委員会 資料1

「埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について」

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

1 県営競輪の開催状況

- 大宮双輪場(さいたま市)・西武園競輪場(所沢市)の2か所で競輪を開催しており、全国で唯一、常時2か所で開催する施行者である。

大宮双輪場

- ・昭和24年1月開設
- ・埼玉県(都市整備部)が所有
- ・使用料 1.5億円 (R5)
- ・照明設備なし、ナイター・ミッドナイト開催不可
- ・東日本で初めて競輪開催



西武園競輪場

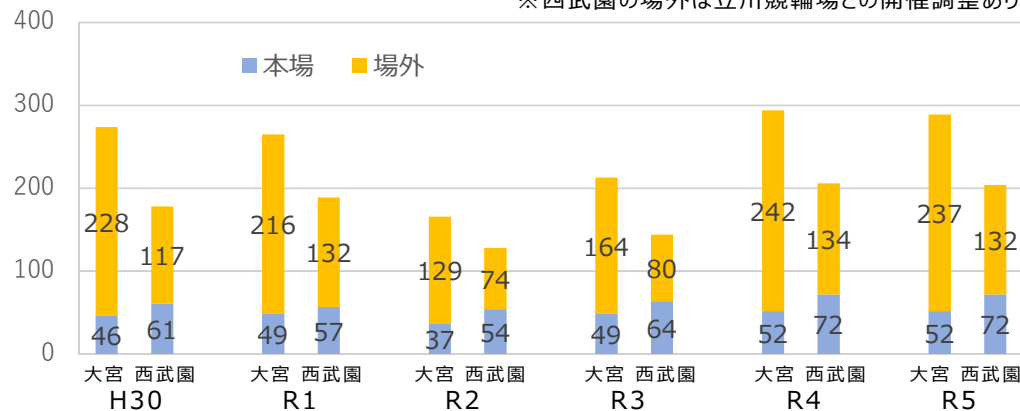
- ・昭和25年5月開設
- ・(株)西武リアルティソリューションズが所有
- ・使用料 3.8億円 (R5)
- ・平成28年度、本県が移動照明車を購入。ナイター・ミッドナイト開催可能。
- ・令和4・5年度にG Iを開催



- 開催日数のうち、本場開催は、大宮が50日/年・西武園が70日/年程度で照明設備のある西武園の方が多。

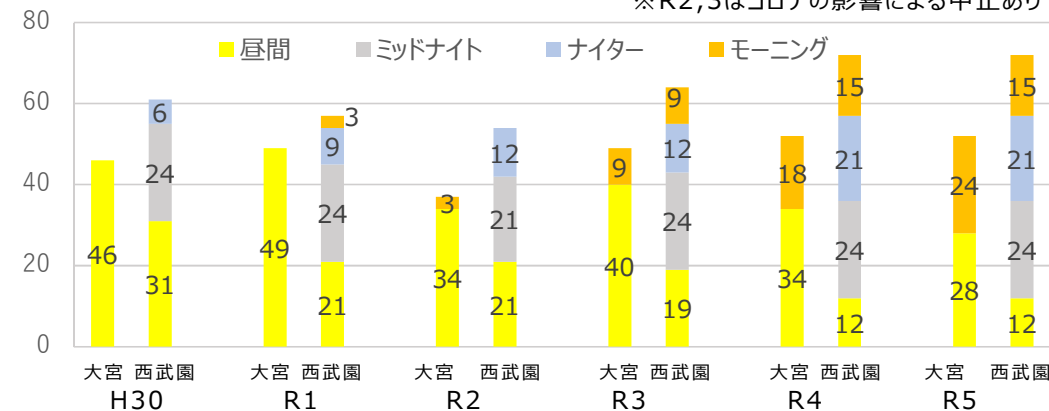
○開催日数の推移

※西武園の場外は立川競輪場との開催調整あり



○開催形態(本場)の推移

※R2,3はコロナの影響による中止あり



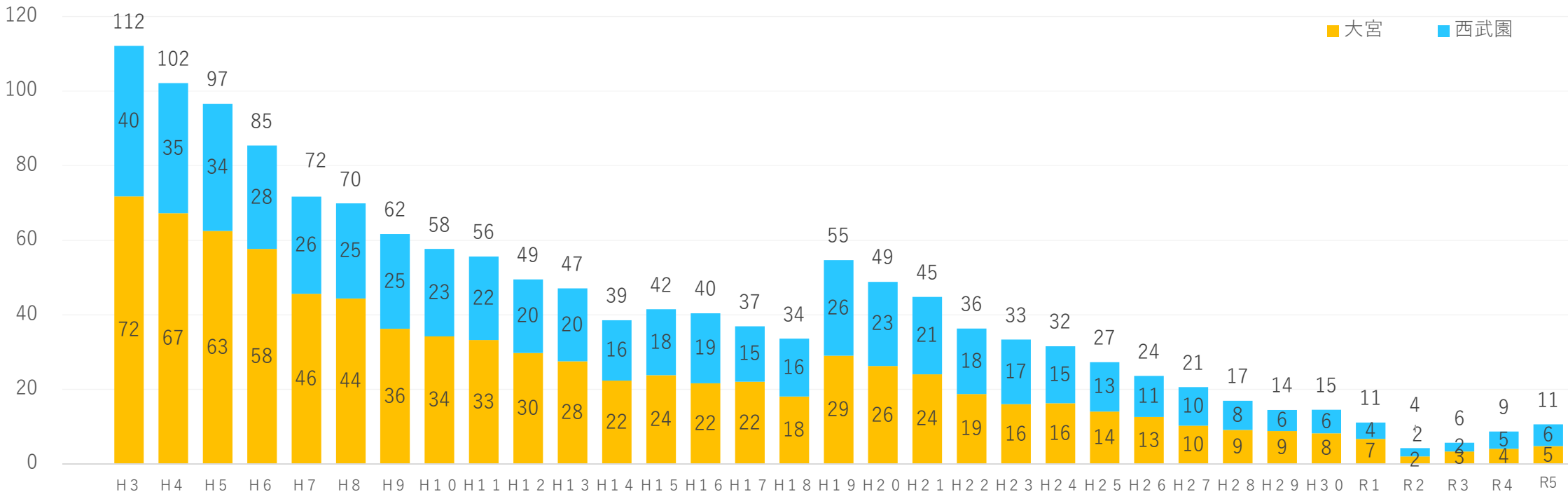
埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 入場者数の推移

■ 令和5年度の入場者数は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や入場料無料化の影響もあり、令和4年度と比較して約2万人増加した。

■ 県営競輪の売上ピークである平成3年度の入場者数と比較すると、令和5年度は約1/10の来場者数となっている。

(単位：万人)

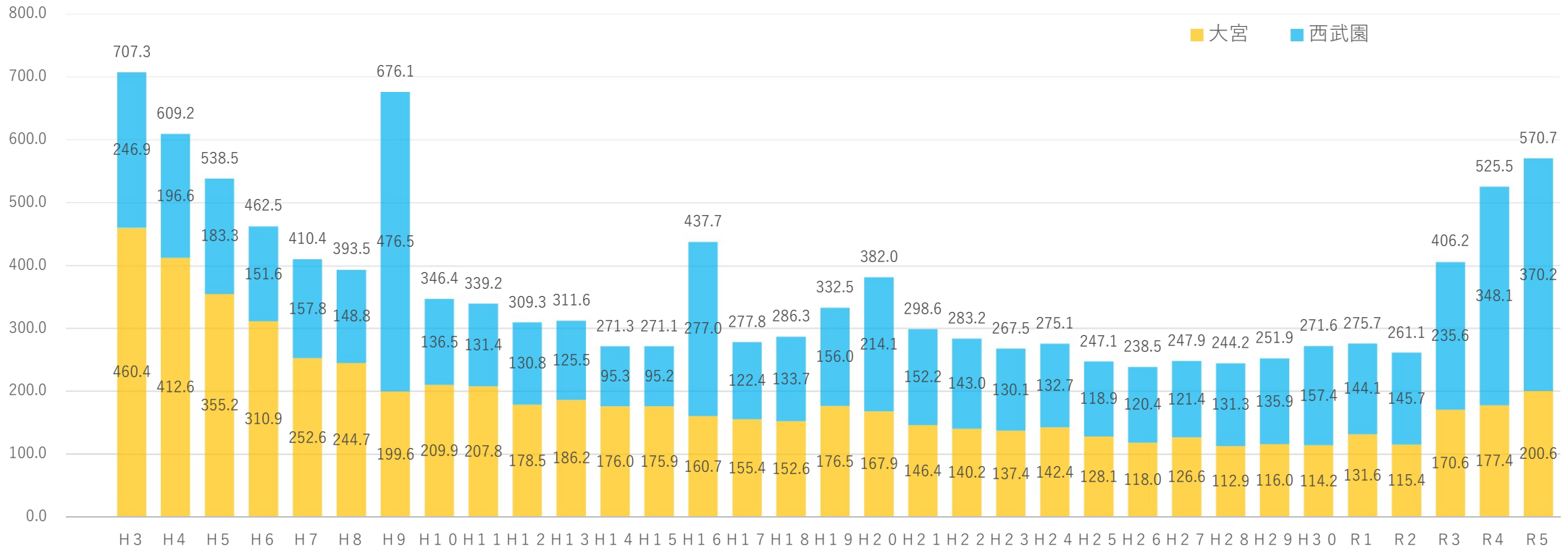


※平成19年度から6市(さいたま市、川口市、熊谷市、川越市、所沢市、行田市)の開催を県が引き継いだ。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3 売上の推移

- 平成3年度（707億円）をピークに減少。H26（239億円）を底に反転し、近年は増加傾向である。
 - オールスター競輪を開催したこともあり、令和4・5年度の売上は、平成9年度以来となる500億円を突破した。
 - 好調なインターネット投票を背景に、令和5年度の売上は571億円で前年度比+45億円（8.6%増）となった。
- (単位：億円)



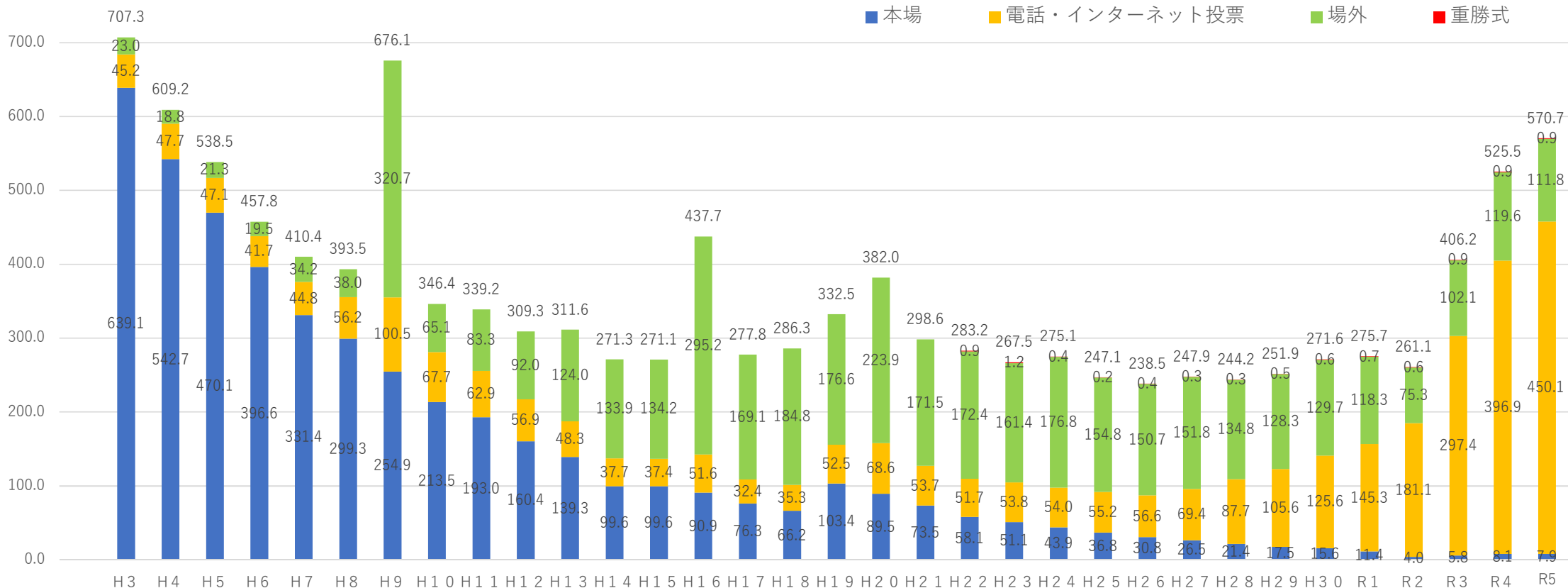
※H9,H16,H20,R4,R5は西武園でG I開催。R2はコロナの影響で6開催中止。※売上には5重勝式、Dokanto!は含まない。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

4 チャンネル別売上の推移（2場）

- 令和5年度のチャンネル別売上は、電話・インターネット投票が79%を占めている。
- 本場・場外の売上は前年度比減であるが、電話・インターネット投票が前年度比13.4%増と、前年度から伸び率は鈍化しているものの引き続き高い伸び率となっている。

（単位：億円）

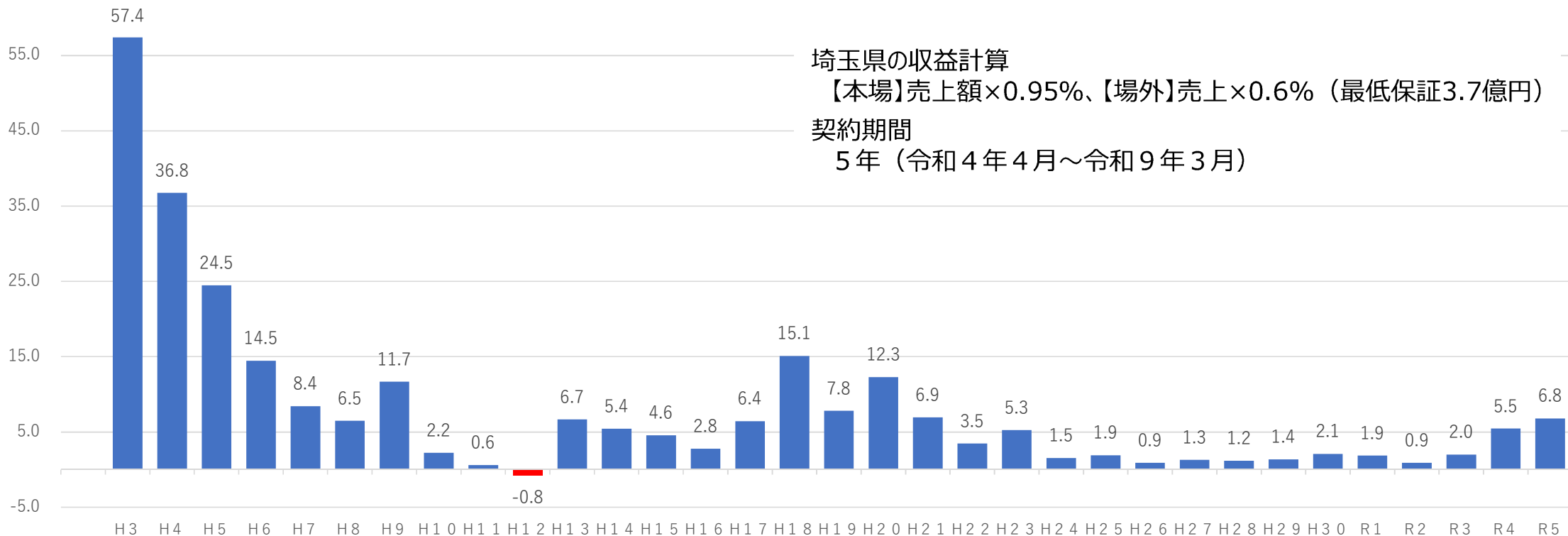


埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

5 競輪事業収益の推移

- 平成2年の57.6億円をピークに減少傾向で近年は2億円を下回る状況が続いていたが、令和4年度から新たな包括業務委託契約の締結やG I 開催による売上増加などにより、県収益の条件が改善している。
- 令和4・5年度は5億円超の収益を上げており、令和6年度も4.8億円程度の収益を見込んでいる。

(単位：億円)



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

6 課題に対する取組

- 埼玉県競輪事業検討委員会の報告書「県営競輪事業の現状と課題」で示された課題への対応策に取り組んでいる。
- 太字の項目について、次ページ以降で説明。

	課題	対応策
1	県収益の向上	<ul style="list-style-type: none"> ①売上が見込めるレースの誘致(オールスター競輪誘致) ③西武園の受託場外発売の開催調整の再検討 ⑤ギャンブル依存症に配慮した取組の充実
2	競輪事業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ②投資効果を考えた集中的な投資 ④大宮、西武園の車券を販売する場外車券売場の増加
2	競輪事業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ①入場料の無料化(R5年度から実施) ③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催 ⑤競輪を楽しめる演出の実施 ⑦地元を拠点としたエンターテインメント企業との連携 ⑨他団体との連携 ⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化 ②競輪初心者向けのイベント、演出の実施 ④競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致 ⑥団体客誘致のためのBOX席設置の検討 ⑧スポーツ・バーと連携したネット車券販売の展開 ⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施
3	イメージアップ	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツとしての競輪の魅力発信 ③社会貢献のアピールの継続的な実施 ⑤Jリーグのブランディングの研究 ②自転車競技の普及に向けた取組の充実 ④目的、方向性を掲げた事業の実施

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

1 - ② 投資効果を考えた集中的な投資

(1) キャッシュレス投票機の導入（西武園競輪場 令和5年7月末～）

■ 取組内容

- キャッシュレス投票機を導入し、お客様の車券購入方法の選択肢を増やした。
- 専用カード「Saica」に事前に現金をチャージしておくことで、現金を使わずにスムーズに投票ができる。また、スマートフォンでの車券購入も可能で、競輪場内でも自宅でも投票ができる。また、チャージ時にはポイント付与等が可能。

会員数の状況 **264名（令和6年3月末現在）**

■ 今後の展開

- キャッシュレス投票利用者の購買動向やデータ分析をし、ニーズに合わせたサービスやキャンペーンを実施することで利用者満足度を高め、自場の顧客化や購買単価アップにつなげていく。
- 将来的には、キャッシュレスの割合を高め、現金管理に係るコストを削減し、収益増加につなげていく。

便利でお得な
サイカ
Saica
サイカは西武園競輪場で使える
キャッシュレス会員カードです。

会員入会条件
20歳以上
入会費・年会費
無料

便利でお得な
サイカ
サイカは西武園競輪場で使える
キャッシュレス会員カードです。

ガラポン
大抽選会
豪華賞品が
当たる!!
10/21 ±
10/22 ⊕
11/25 ±
11/26 ⊕
12/30 ±

入会費
年会費
無料

銀行口座
いらす
簡単登録

小銭いら
ず
スマート投票

使えば貯まる
ポイント!

入会費
年会費
無料

銀行口座
いらす
簡単登録

小銭いら
ず
スマート投票

使えば貯まる
ポイント!



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ① 入場料の無料化

本場開催時の入場料（100円）を無料化（令和5年4月～）

■ 取組内容

- 大宮・西武園競輪場の近隣に入場料無料化のチラシを配布し、PRを実施。
- チラシ持参者へのガラポン抽選会、キッチンカーの出店、選手のトークショー、縁日、入場者プレゼント、整体師の施術（一定額以上の購入者を対象）など様々なイベントを開催。
- 西武園競輪場において、立体駐車場からサイクルシアターに直接入れる新入場門を設置し、来場者の利便性を向上。
- 場外開催時にも様々なイベントを行い、無料化を積極的にPR（納涼祭、七夕イベント、野菜詰め放題等）

■ 今後の展開

- 取組を継続的に行い、競輪場入場者の高齢化・固定化に歯止めをかけ、女性や若年層、ファミリー層などの新規顧客を呼び込み、競輪場の活性化を図る。

■ 入場者数の状況（1日あたり入場者数の比較）

	R 5	R 4	前年比 (R5/R4)
大宮	1,036人	786人	131.8%
西武園	779人	645人	120.7%



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ②競輪初心者向けのイベント、演出の実施

(1) インスタライブ配信事業

- 取組内容
 - 埼玉県と宇都宮市が連携し、ネットユーザーを競輪場に呼び込むことを目的として実施。
 - 選手会各支部の協力の元、人気選手が月1回出演。
 - 配信中は随時、質問を受け付けており、フォロワーと交流を図っている。
 - 9回の実施(うち埼玉支部が6回)で587人のフォロワーを獲得。現状ライトユーザーが多い。
- 今後の展開
 - より幅広いユーザーを取り込むためにYouTubeライブを同時展開予定。



インスタライブ

(2) パチンコユーザー来場誘致事業

- 取組内容
 - 公営ギャンブルに親和性の高いパチンコユーザーへの競輪の認知促進を目的として実施。
 - 具体的にはインフルエンサーがSNSで事前告知を行い、競輪場でファンと一緒にレース観戦をする企画を開催。
 - 実際に大宮記念競輪においては、50名の参加があるなど好評であった。
- 今後の展開
 - 様々な業界との連携を模索して、新たに競輪に興味を持つ人が増えるような事業を展開していく。



ガイダンス

(3) 初心者ガイダンスの充実

- 取組内容
 - 本場開催時にブースを設置し、競輪アドバイザー等による、競輪のイロハから車券購入までをレクチャーしている。これまでに大宮で4回、西武園で1回実施し、延べ437名の参加があった。
- 今後の展開
 - 定期的実施し、新規競輪ファンの拡大を図っていく。



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

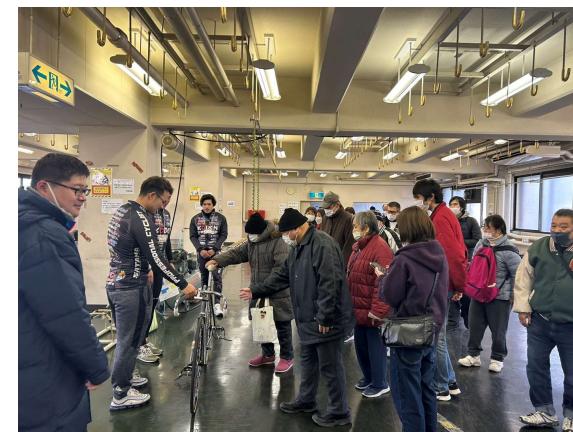
2 - ③競輪場内でアートなどをテーマにしたイベントの開催

■ 取組内容

- 障害者アートのパネル展示を継続。（場内の壁面に常設展示）
- 場内施設の利活用と美観向上、障害者アーティストの活動支援や社会的認知の促進を目的とし、新たなパネル展示作品の募集を実施。
 - 1 募集作品のテーマ
 - ・ 「競輪」または「居心地の良い場所」
 - 2 募集期間
 - ・ 令和5年12月1日から令和6年3月15日まで
 - 3 展示
 - ・ **6点を採用し**、令和6年度にパネル展示
 - 4 その他
 - ・ アーティストの創作活動及び障害者団体の地域交流活動の一助となることを目的とし、大宮双輪場の見学会を開催。（令和5年12月19日）



～常設展示作品～



～見学会の様子～

■ 今後の展開

- 令和6年度に新たなパネル展示を実施するとともに、その後も継続的な取組を実施していく。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ④ 競輪場内への人気飲食店やカフェの誘致

(1) オールスター競輪 (G I) での取組

■ 取組内容

- 大手飲食チェーンの「ゴーゴーカレー」と連携し、競輪選手発案のメニューをオールスター競輪期間中に限定販売。報道発表、記者会見も行い、オールスター競輪開催も含めて大々的にPR (7紙で記事化)。全日程で完売し (合計800食)、お客様から好評を得るとともに、JKAでもプロモーションの成功事例として報告された。
- また、秩父市に醸造所を構える「秩父麦酒」も出店し、店頭販売のほか、競輪場ではあまり例がない売り子販売も実施。豊富なメニューにより来場者を喜ばせた。

■ 今後の展開

- 継続して人気飲食店等の誘致に努める。



(2) 記念競輪 (G III) や通常開催 (F I、F II) での取組

■ 取組内容

- 記念競輪においては、農業ビジネス支援課の所管している「埼玉イベント出店ナビ」を活用することで、多くのキッチンカー (地元食材を使用した料理やクラフトビールなど、大宮記念では19台) が出店した。
- また、通常開催時においても三陸・常磐産の食材を使用したキッチンカーなどを誘致し、食の充実を図った。

■ 今後の展開

- 来場者増に寄与できるよう、家族連れや若い方に人気のあるキッチンカー等の出店の継続やイベントを実施していく。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ⑤競輪を楽しめる演出の実施

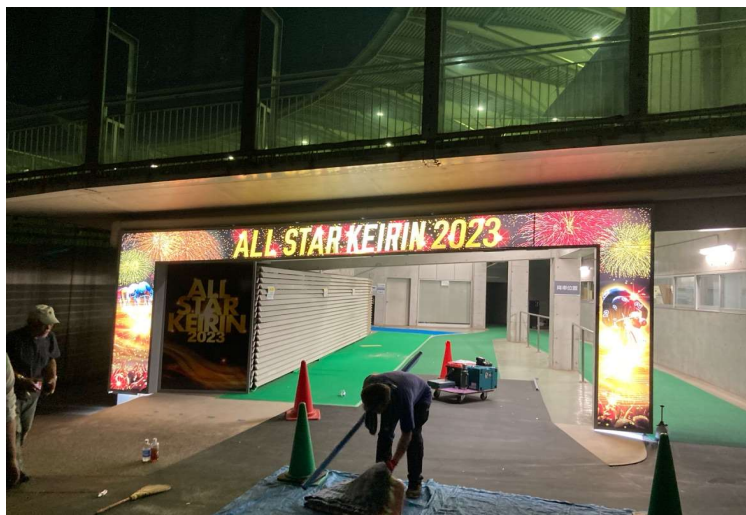
■ 取組内容

- 選手入場時の演出効果を高め、レース観戦を盛り上げるため、西武園競輪場の敢闘門に装飾を施した。（オールスター競輪では特別装飾を施し、本年10月からは常設とした。）
- その他、クリスマスやお正月など季節ごとに来場者が楽しめるような場内装飾を施している。



常設敢闘門

西武園のテーマカラーである青を基調としたデザイン



参考：オールスター競輪開催時の敢闘門



クリスマス



お正月

■ 今後の展開

- 来場者や視聴者がレース観戦を楽しめる取組を継続していく。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ⑨他団体との連携

■ 取組内容

- 県青少年課と連携し、「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車教室」を開催した。同教室の周知は、県内すべての小学校に配布される職業体験教室のチラシで行った。
- 令和6年1月の大宮記念競輪開催時に、埼玉県高等学校体育連盟自転車専門部と連携し、「第4回埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯」を開催した。
- 同記念競輪開催時に、埼玉県立大宮高等学校ダンス部によるステージイベントを実施した。



■ 今後の展開

- 職業体験教室を継続し、競輪の認知度向上を図るとともに、子供達の職業体験の機会を提供する。
- 選抜ケイリンを継続し、このレースを目標にしているなど自転車競技を行う高校生アスリートの活動支援を行う。
- 競輪場を活動発表の場にしていただくなど県内の学校等との連携を強化し、地域の賑わい創出を目指す。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2-⑩競輪選手の意見を反映した取組の実施

選手会から「競輪の魅力を伝えることができる機会があれば協力したい」との話を聞き、各種イベント等において、現役選手が直接競輪の魅力を伝える取組を実施した。

■ 取組内容

- 未就学児向けの自転車乗り方教室、小学生向けの職業体験教室を実施。【再掲】
- ビッグレース開催時に選手会によるブース出展やチャリティーイベントを行い、ファンとの交流を深めた。
- オールスター競輪の際、選手の意見を反映したオリジナルカレーを共同開発（ゴーゴーカレー）。【再掲】 ゴーゴーカレー全店舗で放映・設置する告知動画・チラシにも登場。さらに、記者会見、テレビ埼玉情報番組にも出演。
- 選手とのファンミーティング、選手を起用したインスタライブを実施。【再掲】
- 大宮公園で実施された「ポート池復活祭」に合わせて、大宮双輪場でのイベントの一つとして選手によるトークショーを実施。

■ 今後の展開

- 今後も、選手との対話を続け、魅力的な取組を展開していく。



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

2 - ⑪大宮双輪場の大宮公園との一体化

公園で開催されるイベントの機会等を捉え、競輪場内でも魅力的なイベントを実施した。

■ 取組内容

- 大宮公園七夕Night+ (7/7)、大宮公園ボート池復活祭 (12/2) 開催時、双輪場内でも様々なイベントを実施。【再掲】
- 大宮記念競輪の際のイベント情報を公園内の掲示板及びデジタルサイネージに掲出し、公園利用者に対し来場を呼びかけた。
- NACK5が主催する「第6回NACK5チームランin大宮公園」(1/28) のメイン会場として大宮双輪場を提供。同社と密に連携を図りながら準備を実施。また、開催中も来場者向けにイベントを実施。

■ 入場者の状況 (12/2 ボート池復活祭時の場内イベント)

- 選手トークショー、野菜詰め放題、ガラポン抽選会、初心者ガイダンス、縁日、キッチンカー出店等により、多くのファミリー層を集客。【同じF1グレードで祝日だった7/17(月・海の日)と比較】

7/17 15時：1,248人
12/2 15時：2,500人

■ 今後の展開

- 引き続き、様々な機会を捉え、双輪場内でもイベントを実施することで公園との一体化を図り、普段は競輪に馴染みが薄い家族連れを場内に誘客する。



大宮競輪場へ行こう

15名様以上の団体利用も受付中！
詳しくは、大宮競輪オフィシャルサイト「団体利用案内」にてご確認ください。

大宮競輪場へ行こう

大宮競輪場 大宮競輪

第6回 NACK5 チームラン in 大宮公園

2024年1月28日(日)

大宮競輪場 大宮競輪

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3-①スポーツとしての競輪の魅力発信について

■ 取組内容

【オールスター競輪に合わせた取組】

- 元K-1世界王者・魔裊斗のYouTubeチャンネルで制作動画を放映した。
- K-1WORLDGP大会に協賛し、開催広報を実施した。
- 地元ラジオ局とコラボし、番組内で選手から競輪の魅力等について発信した。
(FM NACK5: 4日間の特別番組の制作とCM放送・コラボステッカーの作成、発するFM:告知CMの制作)
- 競輪アニメ「リンクイプロジェクト」とのコラボステージイベントを実施した。



競輪現役プロ選手に本気で挑む！レッグプレス370kg脅威の脚…
17万回視聴・2週間前

【その他の取組】

- 小学生向け競輪体験教室を実施した。【再掲】
- 未就学児向け自転車乗り方教室を実施した。【再掲】
- クリテリウムサイクルフェスタにブース出展した。
- イオンモールのイベントにブース出展した。
- 大宮アルディージャと連携して「バンク内で学ぶ自転車体験走行＆親子サッカー教室」を開催した。



■ 今後の展開

- スポーツとしての競輪の魅力発信を継続し、またその強化に向けて他のプロスポーツと連携した取組を模索していく。

埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3-②自転車競技の普及に向けた取組の充実



従来からの取組（選手による体験教室、高校生による選抜レース）に加え、新たな取組（バンク走行体験、メタバースへの出展、大手宅配業者との連携など）を実施し、幅広い層に競輪の魅力を訴求した。

取組内容

- 小学生向けの職業体験教室「プロ選手から学ぶ！競輪と自転車競技」を実施。さらに、幼児向けに自転車乗り方教室を実施。【再掲】
- 大宮記念競輪開催時、埼玉県高等学校体育連盟自転車専門部と連携し、「第4回埼玉県高等学校選抜ケイリン大宮記念杯」を実施。
- 一般の方を募り、西武園競輪場でバンク走行体験を実施。
- 競輪業界としては初の試みとして、民間が主催するメタバース「メタ祭り2023夏の陣」に出展し、オールスター競輪を広報。
- 埼玉県の新規事業「バーチャル埼玉」（メタバースでの県の行政情報発信事業）にも出展し、選手紹介などを実施。
- 食品宅配事業を展開しているパルシステム埼玉と連携し、同事業者が発行する利用者向け週刊誌にオールスター競輪のイベント概要等を記載し、来場促進を行った。

今後の展開

- 引き続き、既存の競輪ファンだけでなく、幅広い層に競輪の魅力を伝え、長期的な競輪事業の発展を図る。



埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について

3 - ③ 社会貢献のアピールの継続的な実施について

祭囃子



ワーク
ショップ



■ 取組内容

- 地域住民等の活動発表等の場としての競輪場の活用を促進した。
 - 1 大宮双輪場
 - ・ 県立高校ダンス部・障害者演奏団体・地元ダンスチームによる公演、県内生産者による農産物販売、子供向けワークショップなど
 - 2 西武園競輪場
 - ・ 祭囃子保存会・地元ダンスチーム・地元ゴスペルグループ・女子プロレス団体による公演、子供向けワークショップなど
- 障害者アーティストの創作活動及び障害者団体の地域交流活動の一助となることを目的とし、大宮競輪場見学会を開催した。【再掲】
- パラスポーツの普及促進に向けて、大宮競輪場で「陸上競技用車椅子乗車体験」を実施した。
- 東日本大震災被災地復興支援のために設置された「三陸・常磐ものネットワーク」と連携し、大宮競輪場で福島県産の食材を扱うキッチンカーを出店した。
- 西武園競輪場でスポーツフェスタ（忍者パフォーマンス、体力測定、女子プロレス、バンク走行体験）、クリスマスイベント（ツリー点灯式、ゴスペルコンサート等）、歳末大感謝祭（年越しそばふるまい、ちゃんこ鍋販売等）などを実施した。



陸上競技用車椅子
乗車体験

■ 今後の展開

- 地域住民等の活動発表等の場としての競輪場の活用促進を継続し、地域住民等の芸術文化活動等の促進を図るとともに、競輪場の新たな価値創出に取り組む。

